

# おおいた冠地どり ～短期出荷できる新地鶏を開発～

大分県農林水産研究指導センター畜産研究部 豚・鶏チーム(0974-22-0673)

昭和62年度に豊のしゃもを開発し、美味しさで高い評価を得ているが、飼育期間が長く、生産費の関係からスーパー等での流通が困難である。

流通業者からスーパーなどで販売できる地鶏の要望を受け、飼育期間が90日程度で、特定JAS規格に適合する地鶏「おおいた冠(かんむり)地どり」を開発した。

おおいた冠地どりは、発育が良く、食味試験においても高い評価を得ている。外観は、烏骨鶏を交配していることから、毛冠、顎ひげなど他の地鶏と異なる特徴がある。

## 【普及したい技術のポイント】

1. 烏骨鶏を交配した国内初の地鶏。  
(在来種由来血液百分率が62.5%、特定JAS規格の50%以上を満たす。)(図1)
2. 羽色は茶色で頭部に特徴的な毛冠と顎ひげ等を持ち、性質はおとなしく飼いやすい。(図2)
3. 発育が良く、80～100日齢(平均90日齢)で出荷できる。
4. 90日齢の雌雄平均体重は3,220gとブロイラー(2,907g)に近い体型で、食鳥処理場での機械処理に対応している。  
(表1)
5. 生体重量に対するモモ肉の割合は21.0%(678g)、ムネ肉の割合は13.7%(438g)であり、正肉割合は34.7%(1,116g)である。  
(表2)
6. 食味評価では、地鶏としては柔らかく、うまみなどが優れ、くさみが少ないとの評価を得た。
7. 「おおいた冠(かんむり)地どり」と命名し、普及を図る。

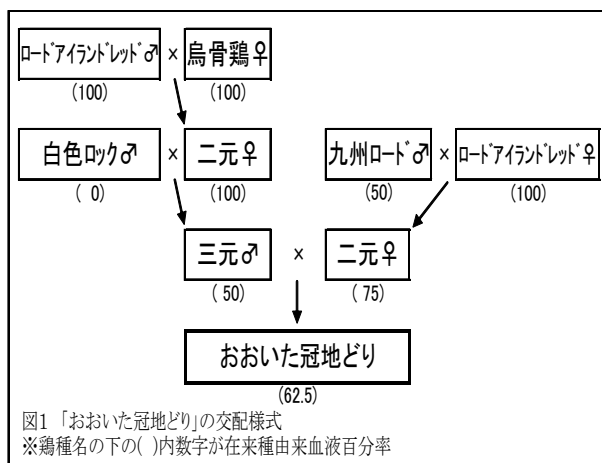


図2 おおいた冠地どりの雄雌

表1 発育成績(単位:g)

日 齢	14	28	42	56	70	80	85	90	95	100
雄	255	775	1,350	2,090	2,850	3,285	3,495	3,665	3,885	4,100
雌	240	685	1,150	1,685	2,190	2,500	2,650	2,775	2,925	3,075
平均	248	730	1,250	1,888	2,520	2,893	3,073	3,220	3,405	3,588
飼料要求率	—	1.50	1.97	2.31	2.57	2.79	2.91	3.06	3.15	3.24

表2 解体成績(90日齢)

	生体重量に対する割合(%)						正肉重量(g)		
	中抜き	モモ肉	ムネ肉	ささみ	手羽	可食内臓	腹腔内脂肪	モモ肉	ムネ肉
雄	74.8	21.6	13.2	3.4	8.8	4.4	3.1	792	484
雌	72.3	20.3	14.1	3.5	8.4	5.0	3.9	563	391
平均	73.5	21.0	13.7	3.5	8.6	4.7	3.5	678	438

注:可食内臓は、肝臓、心臓、筋胃、腺胃とした。